

令和3年度 課の運営方針書

環境生活部 環境政策課

1 課の運営方針

【課の使命】

周南市環境基本計画に基づき、本市が目指すべき環境像「豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南」の実現に向け、安心・安全で持続可能なまちづくりに取り組みます。また、野犬を減らすための対策や墓地管理、さらに斎場の適正な運営など、市民サービスの向上に努めます。

【課の目標】

①野犬を減らすための対策

「周南地域の野犬問題に関する連絡協議会」を軸とした県や警察等との連携のもと、県が行う野犬捕獲に協力するとともに、野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈りや、むやみなエサやり禁止の徹底など、野犬による被害の防止を図ります。

②地球温暖化防止対策の推進

エコ川柳の募集やエコすごろくを活用し、地球温暖化防止のための普及啓発を図るとともに、市内一斉ノーマイカーデーの実施などで、ライフスタイル・ワークスタイルの見直しに努め、温室効果ガスの削減を図ります。また子供向けのキッズエコチャレンジ事業を実施する周南市温暖化対策地域協議会の活動を支援します。

③浄化槽の普及促進

浄化槽の設置費や維持管理費に対する補助金の交付により、普及促進と適正な維持管理の推進を図るとともに、公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上を図ります。

④ごみのないきれいなまちづくりの推進

市民、事業所、行政が一体となった、きれいなまちづくりを目指し、事業者、関係団体などと連携した推進体制づくりを進めます。

【働き方改革による業務改善等の取組み】

課内で業務スケジュール等の情報を共有し皆で協力することで、業務量の偏りをなくし、働きやすく生産性の高い職場環境づくりに努めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(環境政策担当) 市の環境の保全等に関する施策の総合的推進、地球温暖化防止対策、大気・水環境等の保全、公害苦情相談対応、浄化槽の設置推進、浄化槽法による適正な管理及び生物多様性の保全を図ります。

(生活衛生担当) 市民生活が衛生的かつ快適なものとなるよう、ごみのないきれいなまちづくりの推進、市営墓地・斎場等の施設の適正な管理運営、野犬等へのむやみなエサやり禁止の徹底、狂犬病の予防、地域の給水施設の指導などを行います。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	17人	うち	正職員	13人	・	会計年度 任用職員	4人	人件費	正職員	94,393千円	会計年度 任用職員	5,582千円
-----	-----	----	-----	-----	---	--------------	----	-----	-----	----------	--------------	---------

※R1職員平均給与(7,261千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	41,488千円	歳出予算額	2,554,365千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	20事業
-------	----------	-------	-------------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	4 安心安全 3 市民生活の安全性の向上 2 安心安全な暮らしの実現	野犬に対するエサやりパトロールの強化、野犬の捕獲器の貸出し、野犬通報アプリ等を活用し、住民と協働することで野犬を減らす対策に取り組めます。 <後期基本計画に掲げる最終目標値> ・野犬による被害件数 0件
2	8 環境共生 1 低炭素・循環型社会の実現 1 低炭素社会の構築	「市内一斉ノーマイカーデー」による通勤時排出量削減、「おもしろエコ川柳」による取組機会の創出、「エコすごろく」、「エコ日記」及び「キッズエコチャレンジ」による学習機会の創出、市役所エコ・オフィス実践プランによる市事務事業負荷の低減等により、市の二酸化炭素排出量削減に努めます。 <後期基本計画に掲げる最終目標値> ・市の民生部門(家庭・業務)二酸化炭素排出量 597千t-CO ₂
3	8 環境共生 2 環境保全の推進 1 自然環境の保全と再生	騒音規制法、振動規制法及び悪臭防止法による規制、環境保全協定に基づくコンビナート企業の監理、公害苦情相談への対応、環境状況の監視・測定、浄化槽設置に対する支援と浄化槽法に基づく規制により、大気・水環境等の保全に努め、外来特定生物ヌートリアの防除による多様な生態系の保全に努めます。
4	8 環境共生 2 環境保全の推進 2 良好な生活環境の確保	市民と一体となって、ごみのないきれいなまちづくりに取り組めます。また、ペットのふんの放置や無駄吠え等を防止するため、マナーの向上に取り組めます。 <後期基本計画に掲げる最終目標値> ・ごみのないきれいなまちづくり清掃活動参加者数 55,000人 ・犬の飼い方教室・講座の受講者数 100人
5	7 生活基盤 4 水道の安定供給と下水道の充実 4 上下水道事業の経営の安定化	上下水道事業における必要額を一般会計において負担し、安定運営を図ります。
6	7 生活基盤 4 水道の安定供給と下水道の充実 1 安全な給水の確保	補償施設として設置された施設の維持管理を行い、安定した飲料水を提供します。